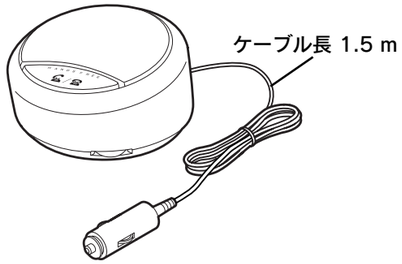
I-O DATA

M-MANU200070-01

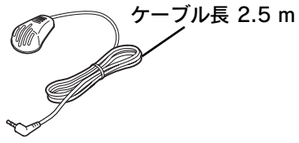
PDI-C904/CHF 設置ガイド

●箱を開けたら

☐ 本体



☐ マイク

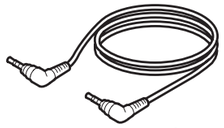


☑ 本書（設置ガイド）

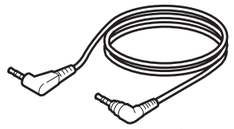
☐ 使用ガイド

☐ 保証書

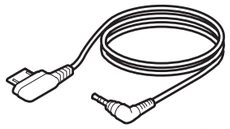
☐ 携帯電話接続ケーブル（３種）（各ケーブル長 1.5 m）



４極-４極ケーブル

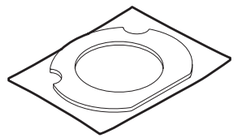


３極-４極ケーブル

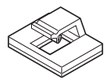


平型コネクタ-４極ケーブル

☐ 本体固定用両面テープ

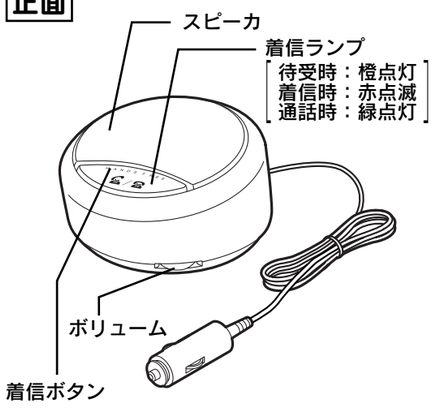


☐ クランパー（小６個）

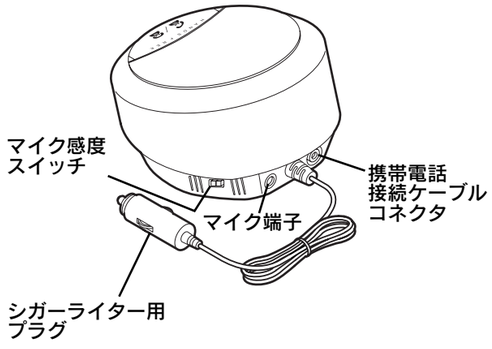


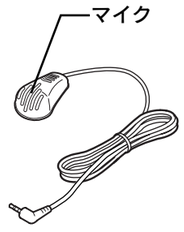
●各部の名称

正面

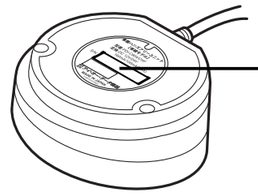


背面





底面



■ユーザー登録について

▼ここにシリアル番号（S/N）をメモしてください。

シリアル番号（S/N）は本製品に貼られているシールに「AAA0000000aa」のように印字してあります。 ※Aは英字、0は数字、aaは英数字となります

●シリアル番号（S/N）は、ユーザー登録の際に必要です。
⇒ http://www.iodata.jp/regist/

●設置する

注意 本製品を設置する際には、視界を妨げたり安全運転の邪魔にならないことを予め確認してから設置してください。また、設置後には振動等で脱落しないよう確実に固定されていることを確認してください。

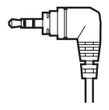
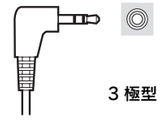
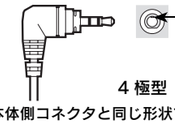
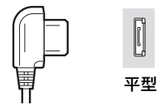
注意 ・エアバッグのカバー部分や作動の妨げになる場所には絶対に取り付けないでください。
・本機の設置に際しては添付の部品以外は使用しないでください。

1. 携帯電話を接続

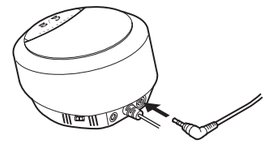
1 携帯電話のイヤホンマイク端子の位置を携帯電話の取扱説明書で確認します。

2 イヤホンマイク端子カバーをあけ、端子に合う添付ケーブルを選びます。

携帯接続用ケーブルについて

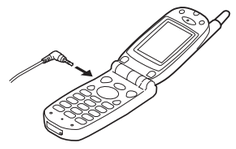
本体側	携帯側
 本体側のコネクタは全て同じ形状です	 ３極型
	 コネクタの穴の外周の一部または全部に金属の部品がある。 ４極型（本体側コネクタと同じ形状です）
	 平型

3 本製品の携帯電話用端子に接続します。



4 携帯電話に接続します。

※本機の電源を入れたまま携帯電話を接続した場合、スピーカーから異音がする場合がありますが、故障ではありません。

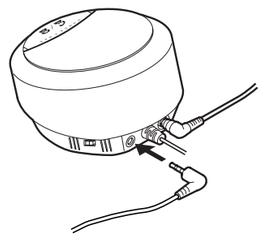


5 携帯電話を車内に設置します。

※本製品と近すぎるとスピーカーからノイズが発生する場合があります。
※本製品と接続する携帯電話は市販の携帯電話ホルダー等を使用して必ず固定するようにしてください。

2. マイクの接続

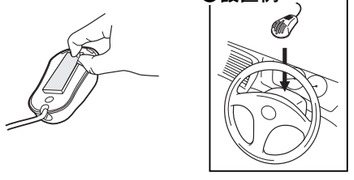
1 マイク端子に添付のマイクのコネクタを接続します。



2 マイクを接続します。

マイクの底面にあるはくり紙をはがして、運転席に近いところに貼り付けます。
※マイクの設置する際には、先端が通話する人の顔を向くように設置してください。また、本体とは 30cm 以上離れた場所に設置するようにしてください。

●設置例

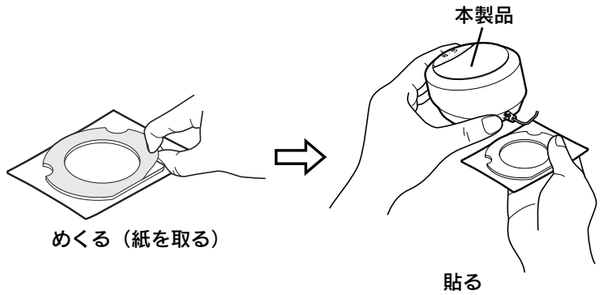


3. 本製品の設置

注意 最初に本体、マイク、携帯電話を取り付ける前にケーブルが邪魔になったり設置場所に問題がないか確認してください。

1 本体固定用両面テープを本製品に取り付けます。

本製品の着信ボタン側が正面となります。



注意 本製品の本体固定用両面テープは非常に強力なものですので、設置場所をよく確認してから取り付けてください。

2 車内でほぼ水平で平らな場所を見つけます。

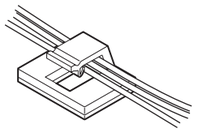
3 本製品を設置します。

※設置する前に必ずシリアル No. をひかえてください。

4 車のシガーライターソケットに本製品のシガーライター用プラグを差し込みます。

●ケーブルの固定

1 ケーブルは、本製品に添付クランパーを利用して車内に固定します。



これで設置は終了です。

●マイク感度の変更

本製品のマイク感度の変更を行います。
スイッチをスライドさせ、シガーライターソケットに挿し直します。

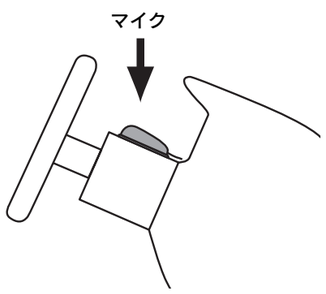


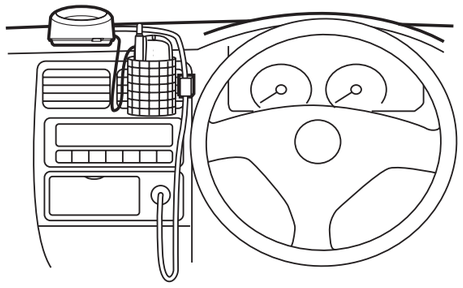
スイッチをスライドさせて最適に調整してください。（1または2）

※1よりも2の方が感度が高いですが、周囲の音にも反応しやすくなります。
※電源投入後にマイク感度スイッチを操作しても感度は変わりません。変更する場合は再度電源を入れ直してください。電源投入時の設定がそのまま有効となります。

●設置例

断面図





必ずお守りください

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■表示について

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を追う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

△ **この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。**
例）「発火注意」を表す絵表示

⃠ **この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。**
例）「分解禁止」を表す絵表示

● **この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。**
例）「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 危 険

分解禁止 **本製品を分解したり、改造しないでください。**
火災や感電、破裂、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

⚠ 警 告

厳守 **本製品を使用する場合は、本製品を接続する携帯電話のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、正しい手順でお使いください。**
警告・注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。
また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。本製品を接続する機器やそれの周辺機器メーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。

発火注意 **煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。**
シガーライター用ソケットから本製品を抜いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

厳守 **本製品の取り扱いは、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことに注意してください。**
●接続ケーブルなどの部品は、添付品または指定品をご使用ください。指定品以外を使用すると火災や故障の原因となります。
●ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。
●接続するコネクターやケーブルを間違えると、コネクターやケーブルから発煙したり、火災の原因になります。

水ぬれ禁止 **本体を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。**
火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

ぬれ手禁止 **ぬれた手で本製品を扱わないでください。**
感電や本製品の故障の原因となります。

厳守 **決められた電流内で使用してください。**
出力電流の絶対最大定格を超えた電流で、本製品を使用すると火災・感電・故障の原因となります。

禁止 **故障や異常のまま、通電しないでください。**
そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

禁止 **運転者は走行中に本製品を操作しないでください。**
走行中に操作するとわき見運転になり、事故の原因となりますので、絶対におやめください。
使用するときは安全な場所に車を止めてから使用してください。
また、歩きながらの使用も事故の原因となりますので、おやめください。

禁止 **自動車の中では本製品を以下の場所に設置しないでください。**
●運転や移動の妨げになるところ
●同乗者に危険があると思われるところ
●不安定なところ
●灰皿の上
●熱くなるところ
●直射日光のあたるところ
●前方の視界を妨げるところ
●本製品の画面がフロントガラスに映り込むようなところ（夜間トンネル内など）前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因になることがあります。

厳守 **本製品はしっかりと固定してください。**
走行中に本製品の位置を変えたり、本製品を固定しようとしてハンドルから手を離したりすると事故の原因となります。
車内に取り付ける場合は、両面テープなどでダッシュボードのフロントガラス付近、あるいは、リアトレイのリアガラス付近（エアコン吹き出し口、エアバックに注意）に固定してください。

禁止 **夏場の車内などの高温になる場所に放置しないでください**
本製品の変形・故障や電池の不良の原因となるだけでなく、本体の故障や火災の原因となります。その他の使用環境については、使用される本体の取扱説明書に従ってください。

⚠ 注 意

禁止 **本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。**
故障の原因となることがあります。
●振動や衝撃の加わる場所　●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリが多い場所　●温湿度差の激しい場所
●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーターなど）
●強い磁力電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカー、ラジオ、無線機など）
●水気の多い場所（台所、浴室など）
●傾いた場所
●腐食性ガス雰囲気中（CI_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
●静電気の影響の強い場所
≪使用時のみの制限≫
●保温・保湿性の高いものの近く（じゅうたん・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）
●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所

禁止 **本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。**
●落としたり、衝撃を加えない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●本製品内部およびコネクター部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

厳守 **ケーブルについて**
●ケーブルは足などに引っかからないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因となります
●熱機器のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接触不良などの原因になります。
●動作中にケーブルを激しく動かさないでください。接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因になります。

厳守 **本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。**
●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

禁止 **本製品を結露させたまま使わないでください。**
時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。
本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露する場合があります。
そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

禁止 **本製品は日本国内仕様です。**
本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

●仕様

一般仕様	
電源	DC12V/24V(シガー電源より供給)
消費電流	150mA(通話時平均)
使用温湿度範囲	-20 ～ 70℃ /20 ～ 85%（結露なきこと）
保存温湿度範囲	-40 ～ 85℃ /20 ～ 85%（結露なきこと）
外形寸法	87.00(w)X89.36(d)X52.00(h)(mm)
質量	約 240g

マイク部仕様	
感度	-45dB(1K Ω)
周波数特性	100Hz ～ 10KHz
指向性	単一指向性（音声用）、無指向性（基準取得用）
S / N 比	30dB(min)
外形寸法	22.0(w) x 42.0(d) x 16.0(h) ケーブル長：2500mm
質量	18g(ケーブル・コネクタ含む)

スピーカー部仕様	
出力音圧レベル	80dB/W/m
最大許容入力	8W
周波数特性	210Hz ～ 20KHz

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/

2004. OCT. 13
© 2004 I-O DATA DEVICE, INC All rights reserved.